

リニアまちづくり構想市民委員会

2012年9月18日(火)
第2回 委員会資料

目次

1 恵那市の概要	
（1）人口・世帯の推移	2
（2）高齢化率の推移	4
（3）人口動態	6
（4）移住の状況	7
（5）通勤・通学流動の状況	9
（6）農業の状況	10
（7）工業の状況	16
（8）商業の状況	20
（9）観光	21
2 住環境等土地利用	
（1）住宅事情	26
（2）土地事情	31
（3）就業事情	46
3 アクセス現況調査	
（1）道路	47
（2）公共交通機関	53
4 恵那市の強みと弱み	59

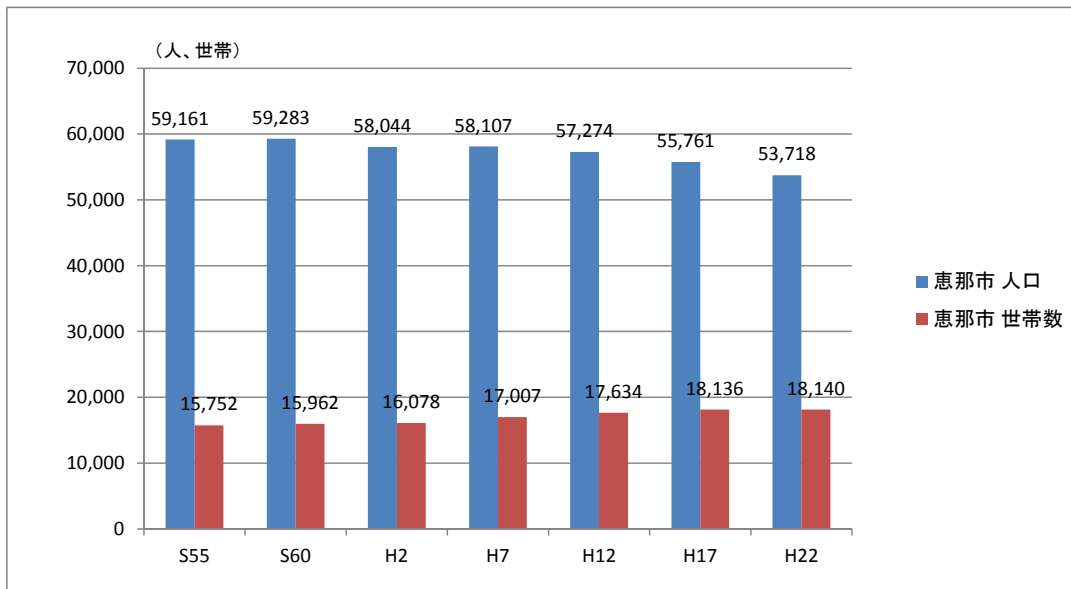
1. 恵那市の概要

(1) 人口・世帯の推移

① 恵那市の人口・世帯数の推移

- 恵那市の人口は平成22年で53,718人であり、減少傾向にある。昭和55年からの30年で約5,400人減少している。
- 世帯数は増加傾向にある。

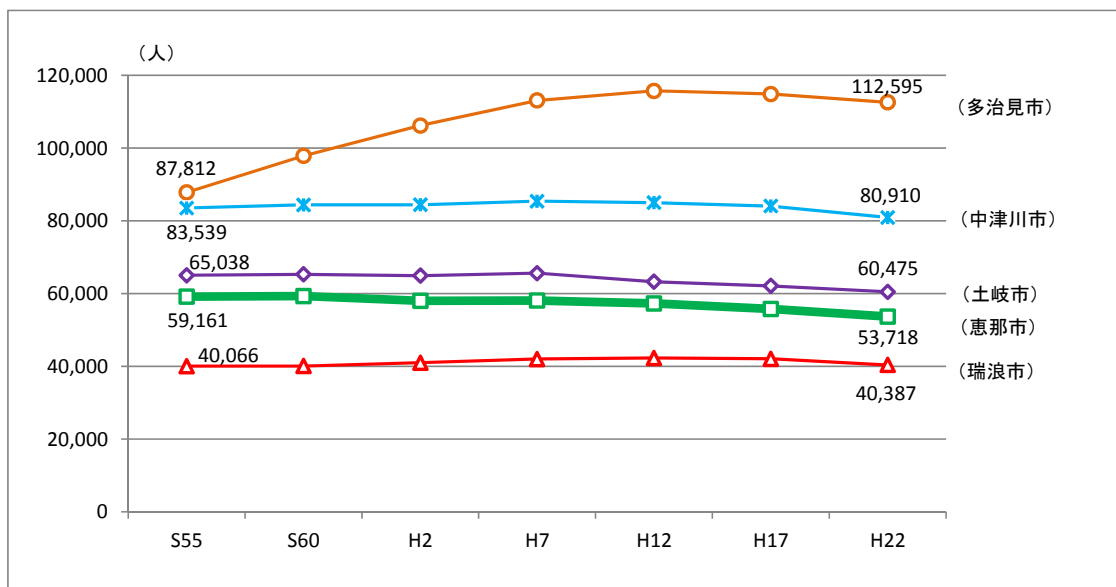
< 恵那市の人口・世帯の推移 >



② 東濃圏域の人口の推移

- 東濃圏域各市とも近年は減少傾向にある。

< 東濃圏域の人口の推移 >

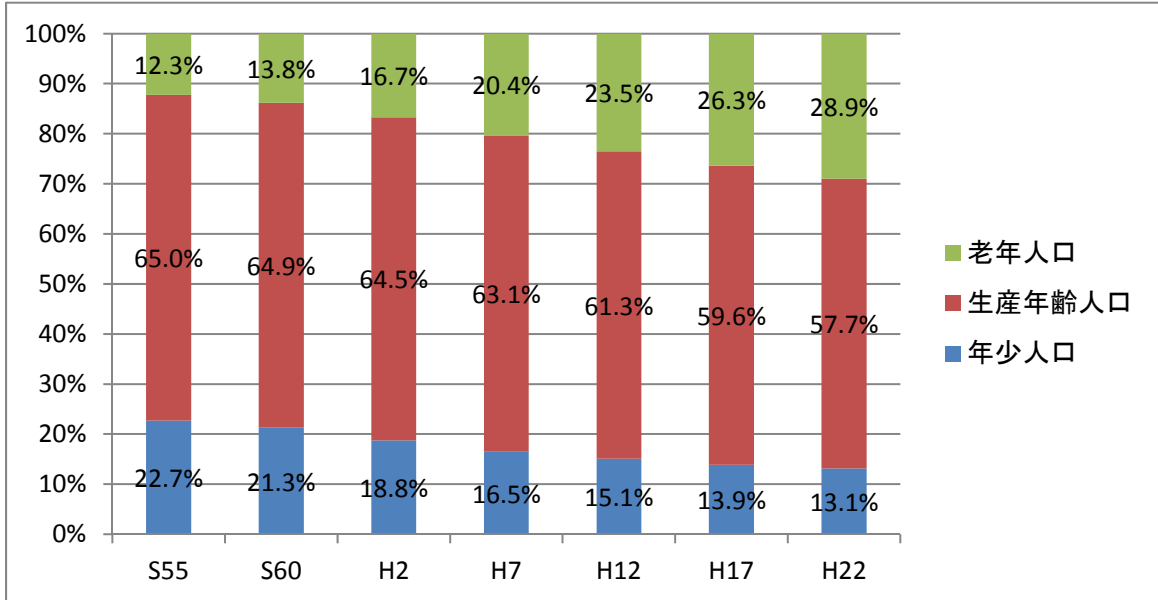


(2) 高齢化率の推移

① 恵那市の年齢別人口の推移

- 高齢化が進展しており、高齢化率(老年人口比率)平成22年では28.9%となっている。

<年齢別人口の推移>

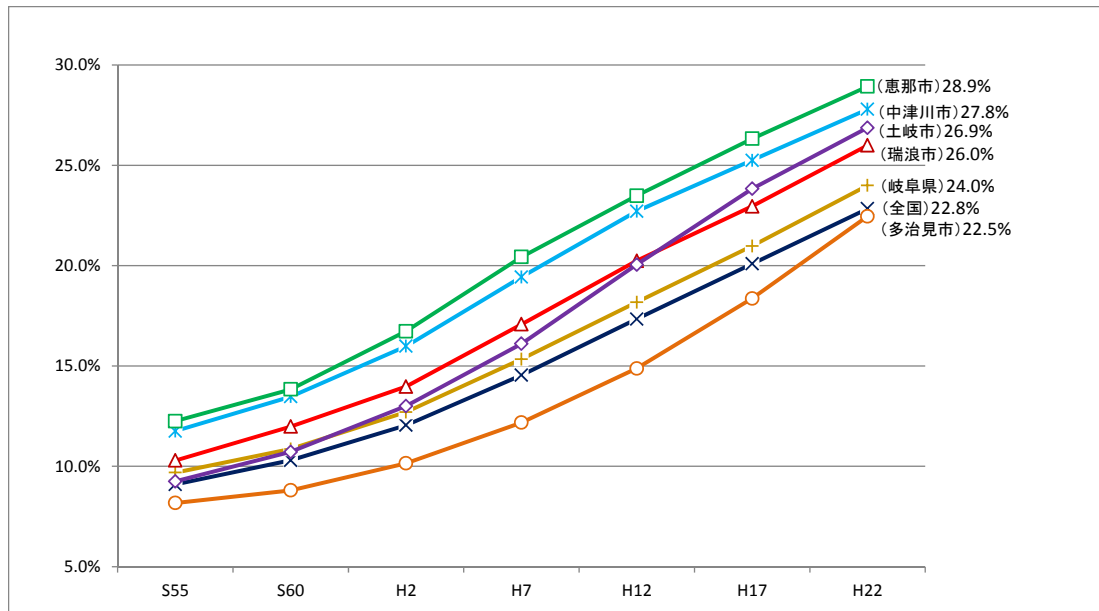


4

② 東濃圏域の高齢化率の推移

- 東濃圏域の中では恵那市は最も高齢化率が高い。各市とも高齢化が進展している。

<東濃圏域の高齢化率の推移>



5

(3)人口動態

- 自然動態は近年200人以上の減少、社会動態は転出超過が続いている。

<人口動態>

区分	自然動態			社会動態								
	出生	死亡	増減 (出生-死亡)	転入				転出				増減 (転入-転出)
				県内	県外	その他	総数	県内	県外	その他	総数	
平成18～19年	419	607	△ 188	745	900	12	1,657	801	995	14	1,810	△ 153
19～20年	430	594	△ 164	668	869	13	1,550	802	1033	8	1,843	△ 293
20～21年	404	620	△ 216	693	692	14	1,399	725	955	11	1,691	△ 292
21～22年	420	680	△ 260	644	722	1	1,367	684	858	—	1,542	△ 175
22～23年	409	743	△ 334	675	766	4	1,445	637	858	1	1,496	△ 51

(4)移住の状況

- 平成22年度において、33世帯、95人、平成23年度において、49世帯、134人の移住実績がある。

<移住・定住に関する実態調査(平成22年度)>

① 移住件数
世帯 人 (うち県外 世帯 人)

② 世帯主の年齢

20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明	計
3	18	5	4	2	1		33

③ 移住前の住所地(上段:世帯数、下段:人数)

関東	関西	東海	うち愛知県	県内	その他	不明	計
1		17	17	14	1		33
2		47	47	45	1		95

※地域の定義(関東:埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県 関西:京都府、大阪府、兵庫県 東海:愛知県、三重県)

④ 移住後の住所地(上段:世帯数、下段:人数)

市街地	周辺部	計
19	14	33
64	31	95

⑤ 市町村の移住支援策の活用実績

区 分	世帯数
定住奨励金等の交付	29
住宅取得・改修費等の助成	
固定資産税等の減免	29
賃貸住宅家賃の補助	
市町村営住宅等の斡旋	
空き家バンクの活用	
田舎暮らし体験施設の活用	3
その他	1

< 移住・定住に関する実態調査(平成23年度) >

① 移住件数
 49世帯 134人 (うち県外 29世帯 68人)

② 世帯主の年齢

区分	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明	計
全体	6	20	8	6	9	0	0	49
うち県外	2	11	5	3	8	0	0	29
うち県内	4	9	3	3	1	0	0	20

③ 移住前の住所地(上段:世帯数、下段:人数)

関東	関西	東海	うち愛知県	県内	その他	不明	計
6	0	22	21	20	1	0	49
12	0	51	49	66	5	0	134

※地域の設定(関東:埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県 関西:京都府、大阪府、兵庫県 東海:愛知県、三重県)

④ 移住後の住所地(上段:世帯数、下段:人数)

市街地	周辺部	計
23	26	49
68	66	134

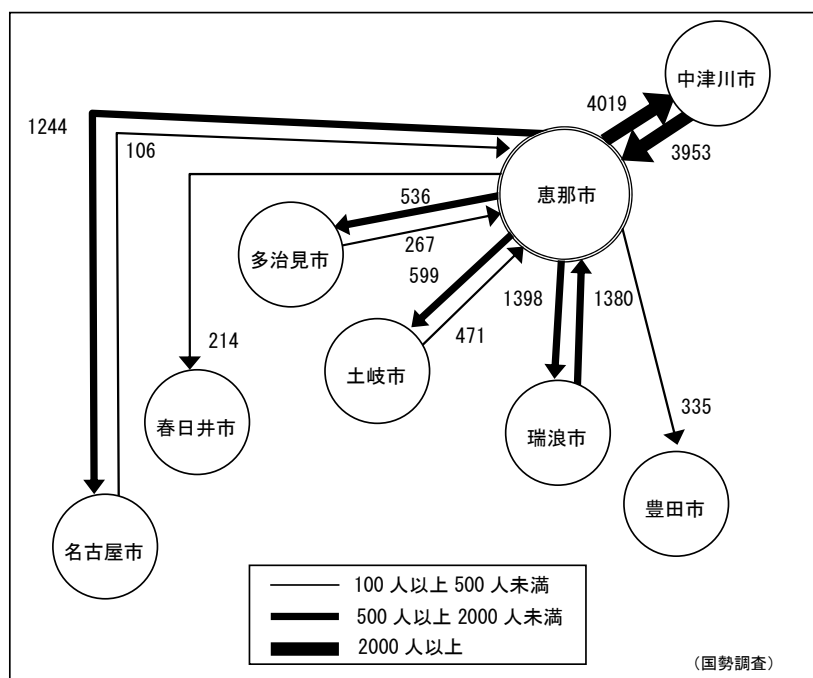
⑤ 市町村の移住支援策の活用実績

区 分	世帯数
定住奨励金等の交付	34
住宅取得・改修費等の助成	
固定資産税等の減免	34
賃貸住宅家賃の補助	
市町村営住宅等の斡旋	1
空き家バンクの活用	8
田舎暮らし体験施設の活用	
その他	6

(5) 通勤・通学流動の状況

- 恵那市の通勤・通学の状況を見ると中津川市との流動が最も多く、約4,000人の通勤・通学がみられる。また、東濃圏域各市との流動も多いが、名古屋市との流動も約1,200人と多い。

< 恵那市の通勤・通学流動の状況 >

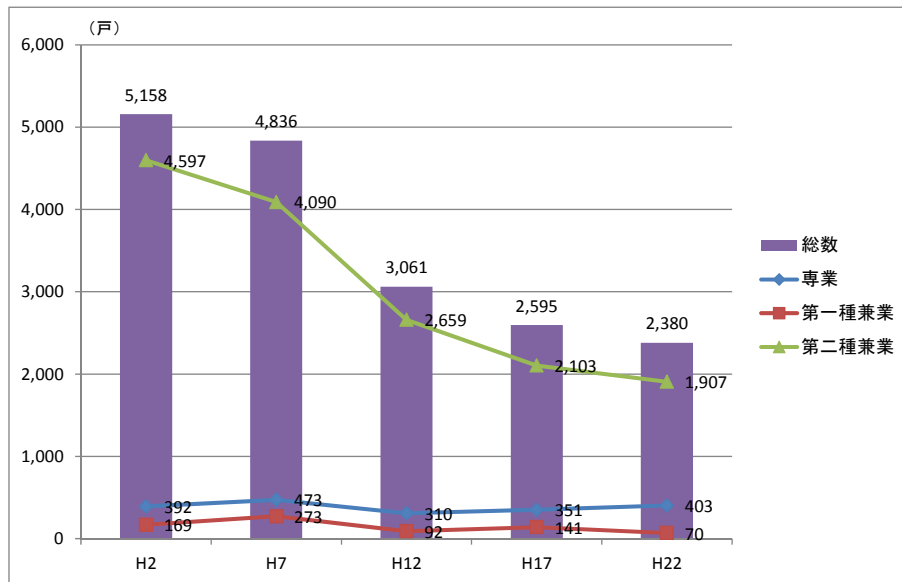


(6) 農業の状況

① 農家数の推移

- 恵那市の農家数(販売農家)は2,380戸、うち専業農家が1,907戸(80.1%)、第一種兼業農家が403戸(16.9%)、第二種兼業農家が70戸(3.0%)となっている。
- 農家数(販売農家)は第二種兼業農家を中心に減少傾向にあるが、専業農家は微増傾向にある。

＜農家数の推移＞



10

② 農地・農家・生産の状況

- 恵那市の耕地面積は3,380haで、田の面積は2,640haと耕地面積の78.1%を占めている。この水田率78.1%は全国平均、岐阜県平均より高くなっている。
- 恵那市の総農家数は4,099戸、農家率は22.6%となっている。農家率は全国平均、岐阜県平均を大きく上回っており、東濃圏域では1位となっている。専業農家率も9.8%となっており、東濃圏域において1位となっている。
- 岐阜県の農業産出額は1,114億円であり、品目別の割合では畜産が36.6%、野菜が30.5%、米が19.0%となっている。
- 岐阜県の主要農畜産物は花木類、かき、ほうれんそう、かぶ、トマト、えだまめ、いちご、くり、米(水稲)が挙げられる。

11

＜農地・農家・生産の状況＞

主な指標		全国	岐阜県	恵那市	県内順位 (42市町中)	中濃圏域 順位	備考
農地 の 状 況	総面積(ha)	37,794,700	1,062,117	50,419	7位	2位	全国都道府県市区町村別面積調 (国土地理院)
	耕地面積(ha)	4,593,000	58,000	3,380	5位	2位	農林水産統計平成22年耕地面積
	耕地率(%)	12.2%	5.5%	6.7%	23位	1位	耕地面積÷総面積
	田の面積(ha)	2,496,000	44,400	2,640	6位	2位	農林水産統計平成22年耕地面積
	水田率(%)	54.3%	76.6%	78.1%	20位	5位	田の面積÷耕地面積
農家 の 状 況	総世帯数	51,950,504	737,151	18,140	13位	4位	H22国勢調査
	総農家数(戸)	2,528,000	70,770	4,099	5位	2位	2010農林業センサス (自給的農家+販売農家)
	農家率(%)	4.9%	9.6%	22.6%	9位	1位	農家数÷世帯数
	専業農家(戸)	451,427	5,671	403	4位	2位	2010農林業センサス(販売農家)
	専業農家率(%)	17.9%	8.0%	9.8%	7位	1位	専業農家数÷農家数
生産 の 状 況	農業産出額(億円)	82,551	1,114	—	—	—	農林水産統計平成22年農業産出 額
	うち米の割合	19.1%	19.0%	—	—	—	
	野菜の割合	27.7%	30.5%	—	—	—	
	果実の割合	9.2%	4.1%	—	—	—	
	花きの割合	4.3%	6.6%	—	—	—	
	畜産の割合	31.4%	36.6%	—	—	—	

【販売農家】経営耕地面積が30a以上又は農産物販売金額が50万円以上の農家
【自給的農家】経営耕地面積が30a未満かつ農産物販売金額が50万円未満の農家

＜主要農畜産物の生産量(平成22年)＞

	生産量	全国シェア	全国順位
花木類(鉢もの類)(千鉢)	4,220	8.6%	3位
かき(t)	9,900	5.2%	6位
ほうれんそう(t)	12,000	4.5%	6位
かぶ(t)	4,310	3.0%	7位
トマト(t)	24,100	3.5%	9位
えだまめ(t)	1,620	2.3%	11位
いちご(t)	3,120	1.8%	13位
くり(t)	794	3.4%	5位
米(水稻)(t)	118,300	1.4%	28位

＜えな100選＞

■えな業		
・恵那シクラメン	・恵那栗	・東濃ヒノキ
■えな食		
・栗きんとん	・五平餅	・細寒天
・朴葉すし	・へぼ料理	・菊牛蒡
・カステーラ	・からすみ	

<特色ある農産物>

■主要な農産物

米/いも類

■野菜

トマト/チョロギ/山ごぼう/白ナス/里芋/辛味大根/黒豆/そら豆/大豆/小豆

■洋野菜

アーティチョーク(あざみ)/チコリ(焼酎用)

■果実等

栗/桃/ゆず/筆柿/キウイ/梅/イチゴ/ラズベリー/ブルーベリー/ナツメ/くるみ/ぎんなん/薬草

■山の幸

沢わさび/山菜/へぼ/しいたけ/じねんじょ/ハチミツ/ハーブ/たけのこ/わらび/ふき/キノコ/ほう葉/紅うど

■花き

シクラメン/蘭

【(恵那地域振興計画 平成19年3月 財団法人 中部産業活性化センター)】

<主な特産品>

■五平餅

五平餅・わらじ五平/黒米「五平」/へぼ五平

■和菓子等

栗きんとん/かすていら/ゆべし/芋切り干し/芋姫様/かんからもち/からすみ(蒸し菓子)
/大正村手づくりせんべい/中仙道手づくり飴/朴葉もち/五平餅かりん

■飲料(地酒・ワイン・お茶等)

地酒女城主純米吟醸、幻の城大吟醸/キウキ乃ワイン/特撰純米酒大正村ラベル/私のりんご(100%りんごジュース)/権茸茶/瓶茶

■味噌・しょうゆ

天然醸造味噌・たまり/みつくりみそ/らっせいそばみそ

■麺類

木曾路そば/うどん、きしめん、ひやむぎ、そうめん

■寒天・こんにやく

天然細寒天/クールスカイ(寒天飲料)/凍ての華(寒天の干菓子)/カウントテン(寒天ラーメン)/寒天こんにやく麺/寒天うどん/さしみこんにやく/まかこんるんるん

■肉・卵

ゴーバルハム/すきやきコロッケ、たわらコロッケ/もみじ卵

■きのこ

松茸釜飯/干しいたけ/しいたけ/ろうじ塩漬

■つけもの

菊ごぼう/菊芋/青とまちゃん(トマトの漬物)

■その他

無臭梅にんにく/天然はちみつ/へぼ(地蜂の子)/子持ちあゆ甘露煮/ほう葉寿司/漢方薬「ミシマサイコ」/大正ロマン化粧水/麦飯石

【(恵那地域振興計画 平成19年3月 財団法人 中部産業活性化センター)】

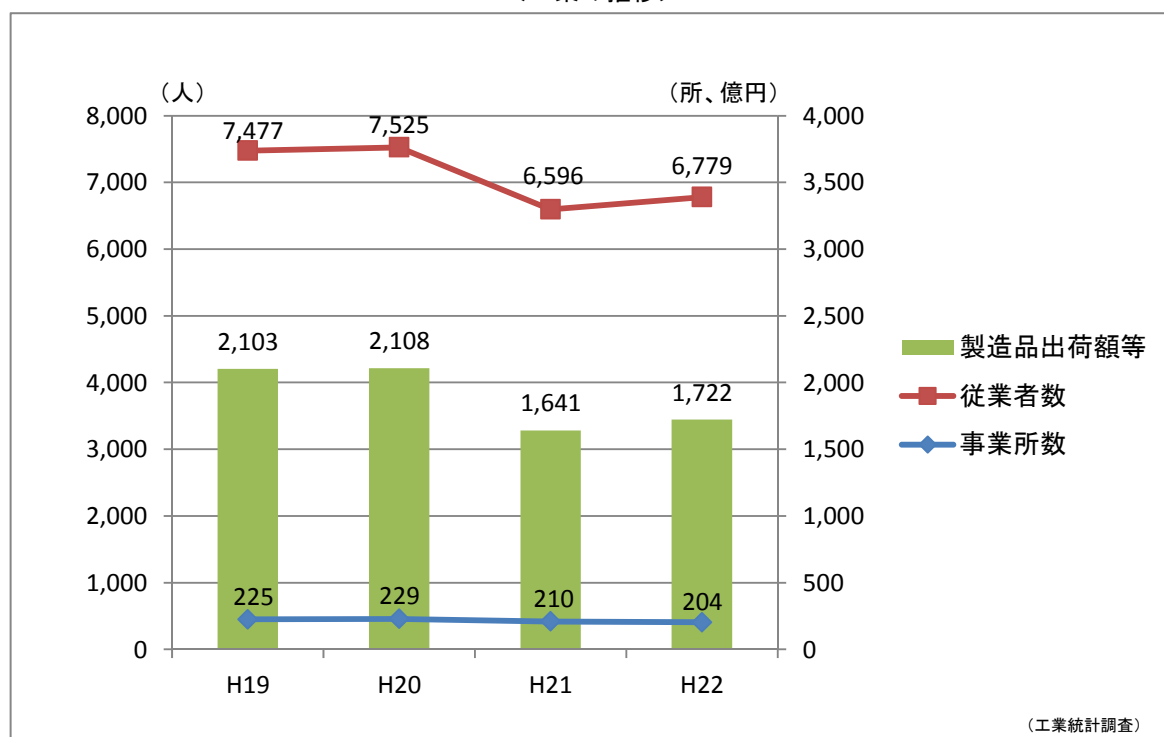
(7)工業の状況

①工業の推移

- 窯業関連と紙関連の比較的古くから立地した産業と、工業団地等に立地したプラスチックや機械等の業種が、恵那市の主要な製造業である。
- 工業団地として恵那テクノパークが整備されている(13社、従業員約1,200人)。
- 事業所数は減少傾向にある。従業者数、製造品出荷額等は平成21年で減少しているものの平成22年で増加傾向に転じている。
- 平成22年において、事業所数は岐阜県内9位(東濃圏域4位)、従業者数・製造品出荷額等はいずれも岐阜県内8位(東濃圏域では中津川市に次ぐ2位)である。

16

<工業の推移>



17

②産業別事業所数、従業者数、製造品出荷額等

- 事業所数では、「窯業・土石製品製造業」(33 事業所)と「食料品製造業」(27 事業所)、「パルプ・紙・紙加工品製造業」(24 事業所)が目立つ。
- 従業者数では、「プラスチック製品製造業」(1,329人)、「窯業・土石製品製造業」(985人)が目立つ。
- 製造品出荷額等では、「プラスチック製品製造業」(約293 億円)、「パルプ・紙・紙加工品製造業」(約261 億円)が目立つ。恵那市は「プラスチック製品製造業」が岐阜県内で第2位、東濃圏域で第1位である。

<えな100選>

■えな業

- ・恵那テクノパーク
- ・ダンボール原紙生産量日本一
- ・バイオリン生産量日本一
- ・硬式用金属バット生産本数日本一
- ・陶土

<産業別事業所数、従業者数、製造品出荷額等(平成22年)>

区分	事業所数		従業者数		製造品出荷額等			
	所		人		万円	岐阜県順位 (42市町村中)	東濃地域 順位	
恵那市	204	100%	6,779	100%	17,245,847	75%	8	2
09食料品製造業	27	13.2%	382	5.6%	573,426	3.3%	12	3
10飲料・たばこ・飼料製造業	1	0.5%	21	0.3%	X	X	-	-
11繊維工業	5	2.5%	82	1.2%	22,292	0.1%	-	-
12木材・木製品製造業(家具を除く)	4	2.0%	45	0.7%	97,338	0.6%	-	-
13家具・装備品製造業	5	2.5%	66	1.0%	95,877	0.6%	-	-
14パルプ・紙・紙加工品製造業	24	11.8%	631	9.3%	2,612,189	15.1%	3	2
15印刷・同関連業	7	3.4%	99	1.5%	65,030	0.4%	14	5
16化学工業	-	-	-	-	-	-	-	-
17石油製品・石炭製品製造業	-	-	-	-	-	-	-	-
18プラスチック製品製造業	19	9.3%	1,329	19.6%	2,931,548	17.0%	2	1
19ゴム製品製造業	2	1.0%	20	0.3%	X	X	-	-
20なめし革・同製品・毛皮製造業	-	-	-	-	-	-	-	-
21窯業・土石製品製造業	33	16.2%	985	14.5%	1,619,835	9.4%	5	3
22鉄鋼業	3	1.5%	126	1.9%	664,309	3.9%	-	-
23非鉄金属製造業	5	2.5%	408	6.0%	1,190,745	6.9%	-	-
24金属製品製造業	15	7.4%	377	5.6%	1,113,026	6.5%	9	2
25はん用機械器具製造業	3	1.5%	49	0.7%	59,900	0.3%	-	-
26生産用機械器具製造業	11	5.4%	126	1.9%	157,771	0.9%	16	4
27業務用機械器具製造業	2	1.0%	562	8.3%	X	X	-	-
28電子部品・デバイス・電子回路製造業	5	2.5%	349	5.1%	X	X	-	-
29電気機械器具製造業	11	5.4%	340	5.0%	503,225	2.9%	-	-
30情報通信機械器具製造業	1	0.5%	15	0.2%	X	X	-	-
31輸送用機械器具製造業	18	8.8%	715	10.5%	1,298,176	7.5%	-	-
32その他の製造業	3	1.5%	52	0.8%	X	X	-	-

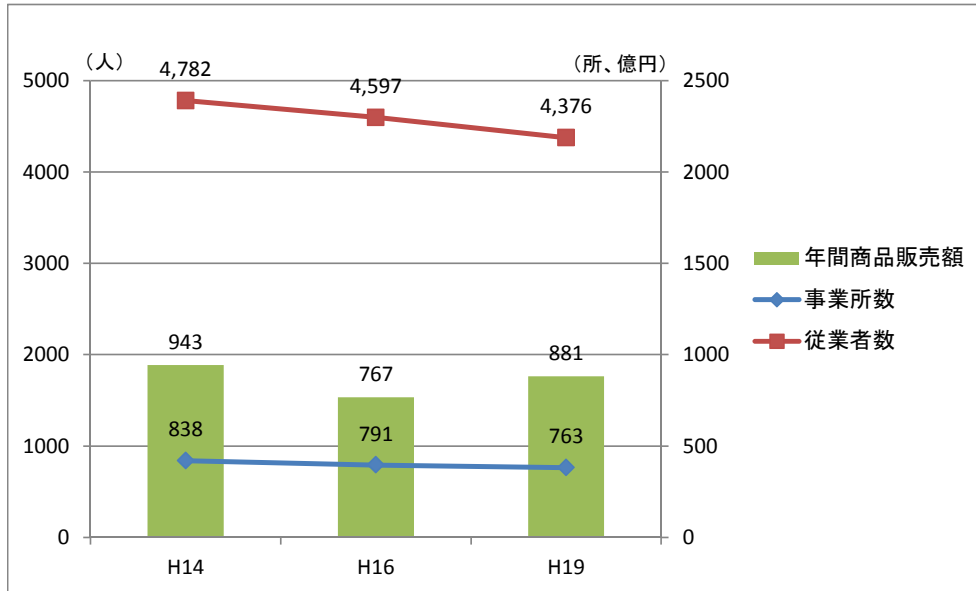
(工業統計調査)

(8) 商業の状況

① 商業の推移

- 事業所数、従業者数とも減少傾向にある。年間商品販売額は近年増加している。

< 商業の推移 >

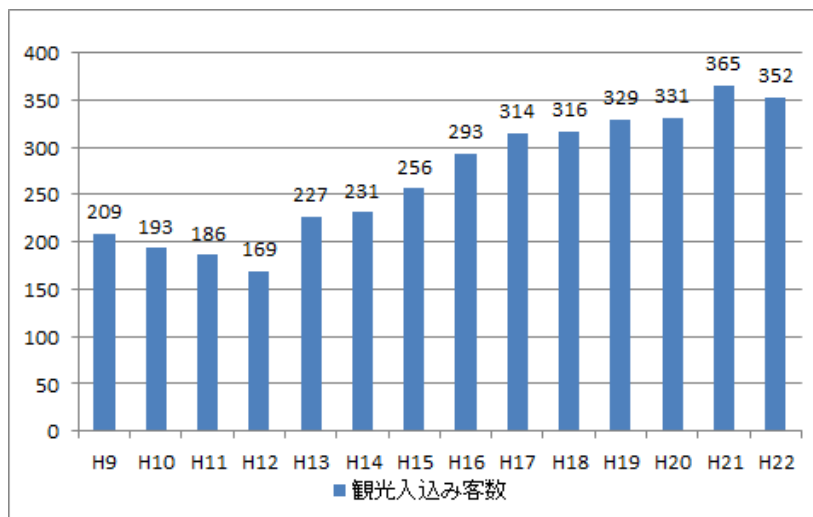


(商業統計調査)

(9) 観光

- 恵那峡・阿木川ダム・保古の湖などの水辺空間、中山道・岩村城下町といった歴史資産、坂折の棚田や農村景観日本一の富田地区、集客力のある道の駅等がある。
- 市全体の観光入込み客数は増加傾向にある。
- 宿泊施設は中津川市(客室約450)に比較して恵那市(客室約600)の方が充実している(資料:各市観光協会HP等)。

< 観光入込み客数の推移 >



(観光レクリエーション動態調査)

＜主な観光資源の分布＞



■ 歴史・文化施設

○ 中山道の関連

中山道大井宿(大井町)/中山道広重美術館(大井町)/中山道ひし屋資料館(大井町)

○ 岩村城跡(岩村町)の関連

岩村歴史資料館/岩村民俗資料館/下田歌子勉学所/御殿茶室/太鼓櫓/知新館(正門)

○ 歴史の町並み(岩村町)の関連

重要伝統的建造物群保存地区町屋活用施設(木村邸・土佐屋・勝川家・柴田家・石橋家)/鉄砲鍛冶(加納家)/薬種問屋(水野家)/浅見家/ふれあいの館/高札場/枳形/天正疎水

○ 日本大正村(明智町)の関連

日本大正村/大正村役場/大正村資料館/大正時代館/大正路地/旧三宅家/大正ロマン館/明智回想法センター

○ 神社仏閣

武並神社(大井町)/浄光寺(岩村町(重要伝統的建造物群保存地区))/巖邑天満宮(岩村町(重要伝統的建造物群保存地区))/八王子神社(明智町)/飯高観音(山岡町)/中山神社(串原)/大船神社(上矢作町)

■ 自然資源

○ 自然等

坂折棚田(中野方町)/不動滝(中野方町)/笠置山(笠置町・中野方町)/恵那峡(大井町)/保古の湖(東野)/寿老の滝(三郷町)/東海自然歩道/奥矢作湖(串原)/お軽の滝(串原)/達原溪谷(上矢作町)/農村景観日本一(岩村町)

○ 花・木

桜(各地域)/ヒトツバタゴ(各地域)/ハナノキ(岩村町)/団子杉(明智町)/ささゆり(各地域)/福寿草(上矢作町)/弁慶杉(上矢作町)

■スポーツ・レクリエーション施設

○キャンプ場・公園等

望郷の森キャンプ場(中野方町)/飯地高原テント村(飯地町)/保古の湖キャンプグラウンド(東野)/東濃牧場(長島町)/阿木川ダムこぶし公園(岩村町)/大正村コテージこもれび(明智町)/コテージ石楠花(山岡町)/奥矢作勤労青少年レクリエーションセンター(串原)/福寿の里モンゴル村(上矢作町)/越沢コテージ(上矢作町)/コテージかわせみ(上矢作町)

○スポーツ施設

マレットゴルフ・グラウンド・ゴルフ場(各地域)/岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場(武並町)

○温泉

恵那峡温泉(大井町)/ささゆりの湯(串原)/花白温泉(山岡町)

○道の駅

らっせいみさと(三郷町)/おばあちゃん市・山岡(山岡町)/ラ・フォーレ福寿の里(上矢作町)

■産業資源

○ダム

大井ダム(大井町)/阿木川ダム(東野)/矢作ダム(串原)/小里川ダム(山岡町)○食品関連岩村醸造(岩村町)/細寒天(山岡町)

(恵那市観光まちづくり指針)

<えな100選>

■えな館

- ・中山道広重美術館
- ・岩村歴史資料館
- ・そばの郷らっせいみさと
- ・おばあちゃん市・山岡
- ・上矢作ラ・フォーレ福寿の里
- ・福寿の里モンゴル村
- ・クリスタルパーク恵那スケート場
- ・五毛座

■えな水

- ・大井ダム
- ・笠置ダム
- ・阿木川ダム
- ・矢作ダム
- ・小里川ダム
- ・保古の湖
- ・寿老の滝
- ・ささゆりの湯
- ・花白温泉
- ・恵那峡温泉

■えな景

- ・恵那峡
- ・傘岩
- ・岩村本通り
- ・富田地区の農村景観
- ・上矢作風力発電所
- ・大船神社と松並木
- ・日本大正村
- ・坂折棚田
- ・笠置山
- ・笠置山クライミングエリア
- ・映画「青い山脈」
- ・映画「ふるさとがえり」

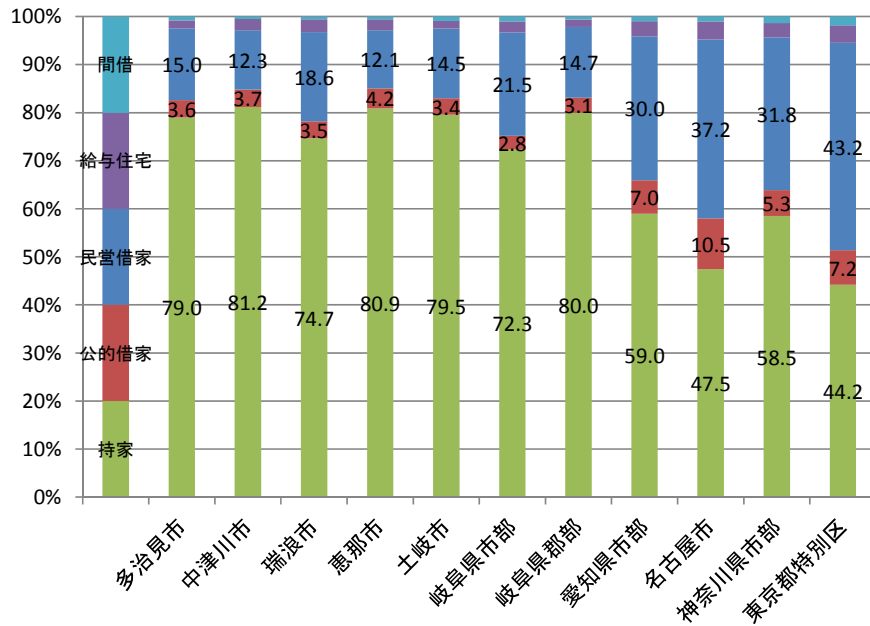
2.住環境等土地利用

(1)住宅事情

①持家率

- 恵那市の持家率は80.9%となっており、東濃圏域各市や岐阜県郡部における比率と同程度である。

＜地域別での住宅所有関係別割合＞

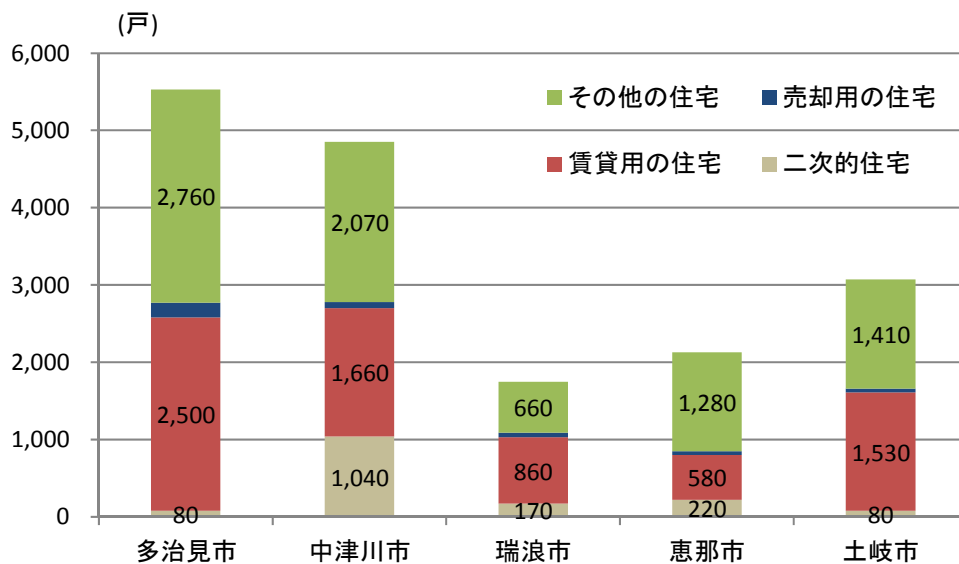


(H22国勢調査)

②空屋戸数

- 別荘等の二次的住宅や賃貸用住宅の空家を除くと、恵那市では1,300戸近い空家が見られる。

＜東濃圏域の空家戸数(内訳別)＞

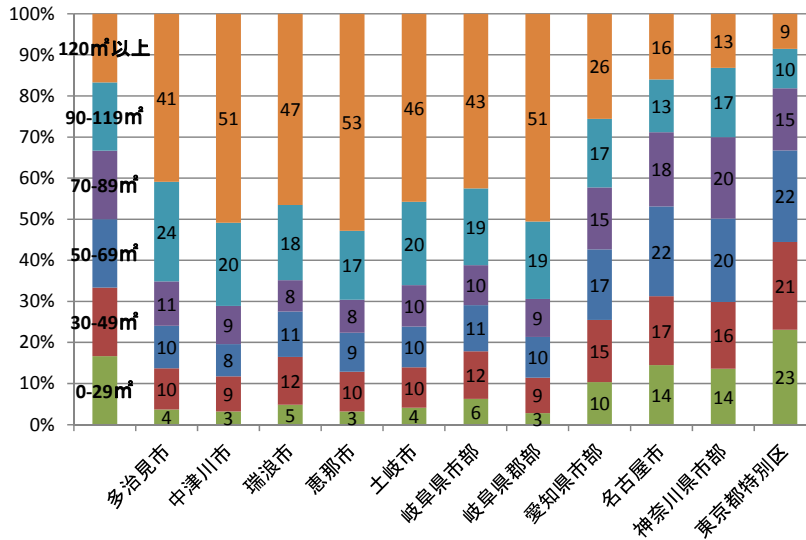


(H20住宅土地統計調査)

③住宅規模

- 恵那市では住宅規模120㎡以上の世帯が約半分を占める。また、90㎡以上の世帯は約7割を占める。東濃圏域各市、岐阜県下も恵那市と同様の傾向となっている。
- 名古屋市や首都圏と比較すると、70㎡未満が名古屋市、神奈川県市部では約半数、東京都特別区では7割近くを占めている。

＜地域別での住宅規模比較＞

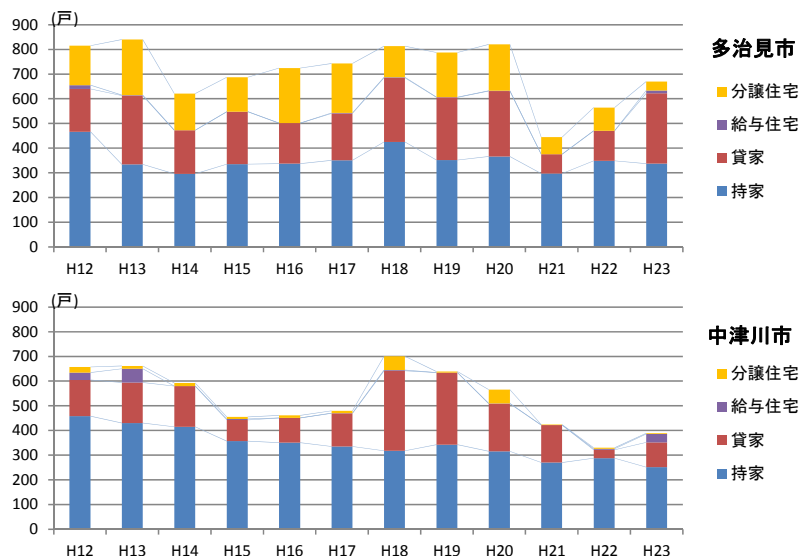


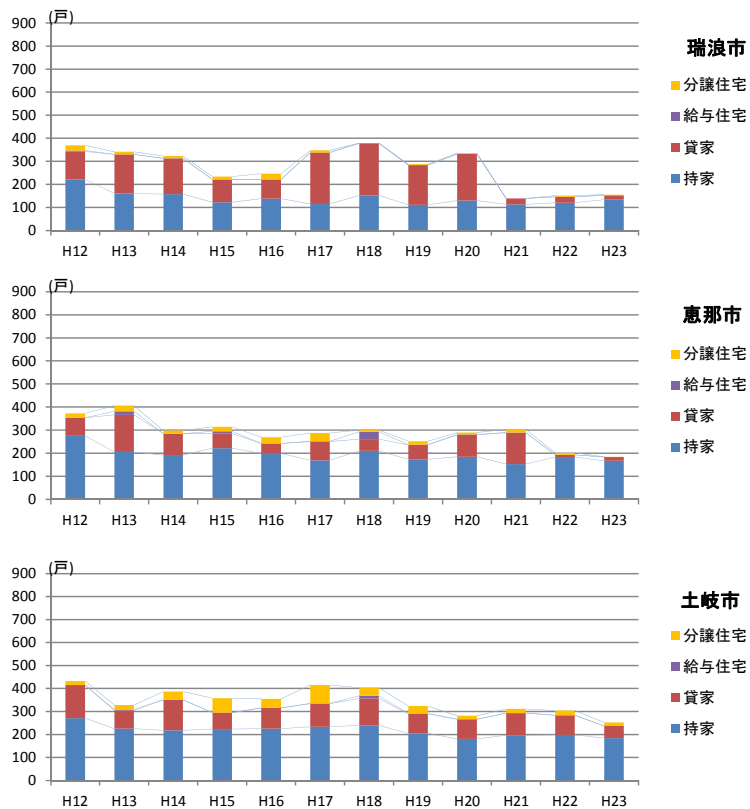
(H22国勢調査)

④住宅需要

- 恵那市における住宅の着工数は年間200から300戸程度で比較的安定して推移している。内訳では多くを持家が占めている。
- 戸数全体で見ると、多治見市や中津川市での着工数が多く、持家・貸家のほか、多治見市では分譲住宅(マンション・建売等)が一定割合を占めている。

＜東濃圏域での住宅供給動向＞



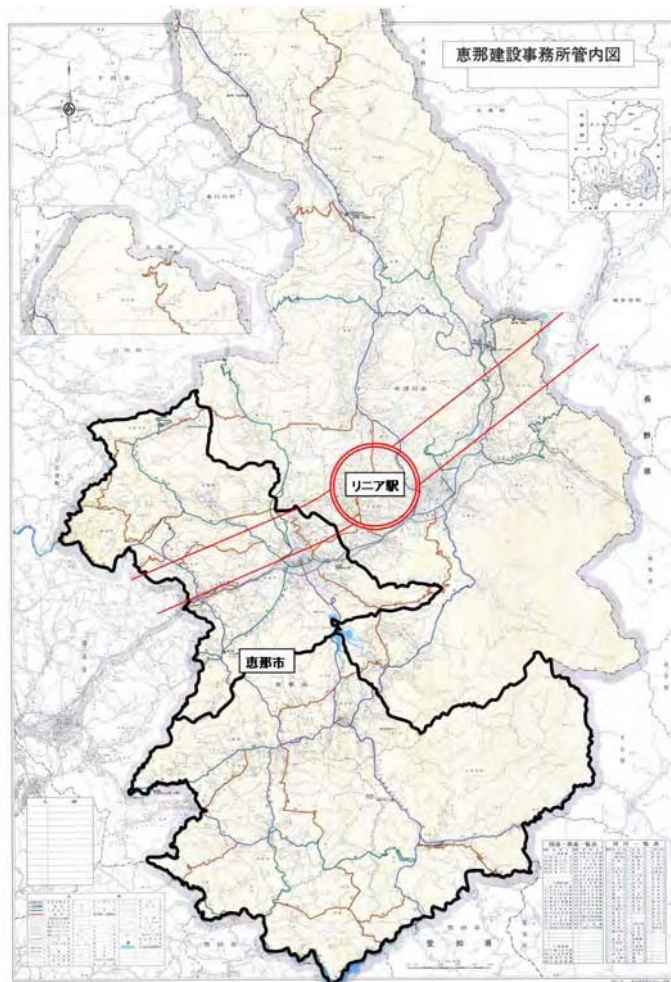


(着工新設住宅概報(岐阜県))

(2) 土地事情

① 土地利用現況

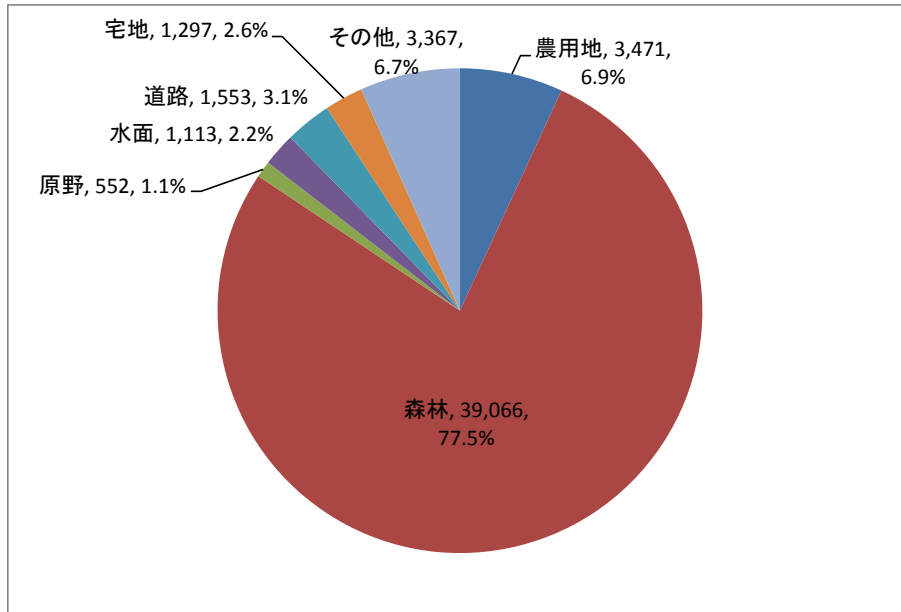
1. 恵那市及びリニア駅の位置



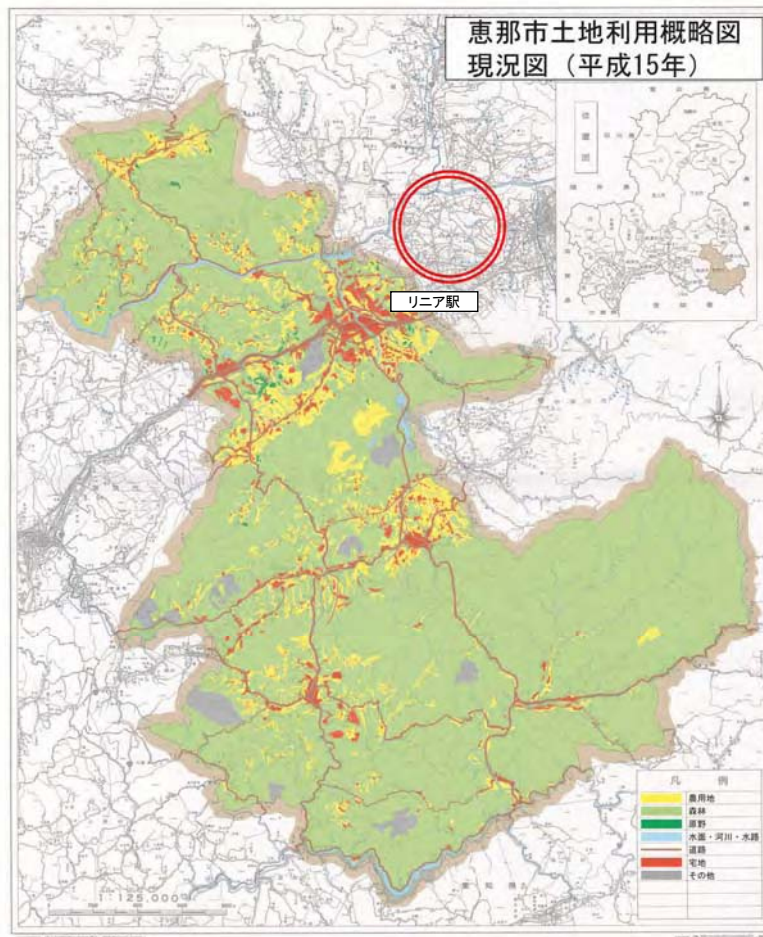
2.地目別土地利用面積

- 恵那市全域の地目別面積は、市域面積50,419haのうち森林が77.5%、耕地が6.9%、宅地は2.6%となっている。

<地目別土地利用面積>

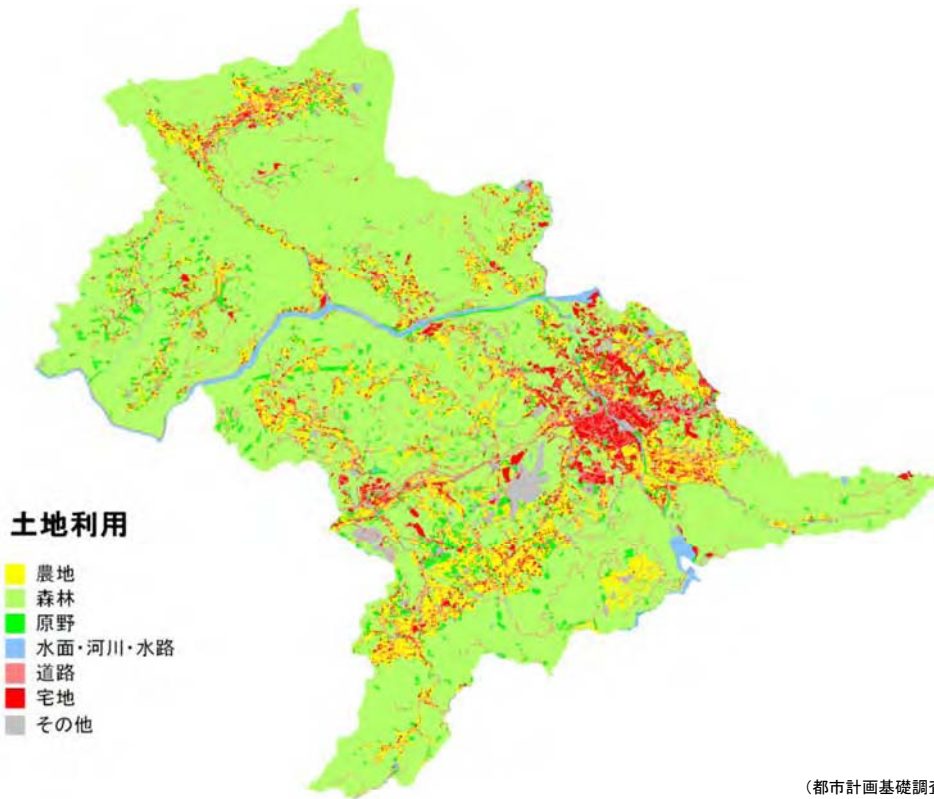


32



(国土利用計画)

33



3.主要河川及び流域区分



②土地利用規制

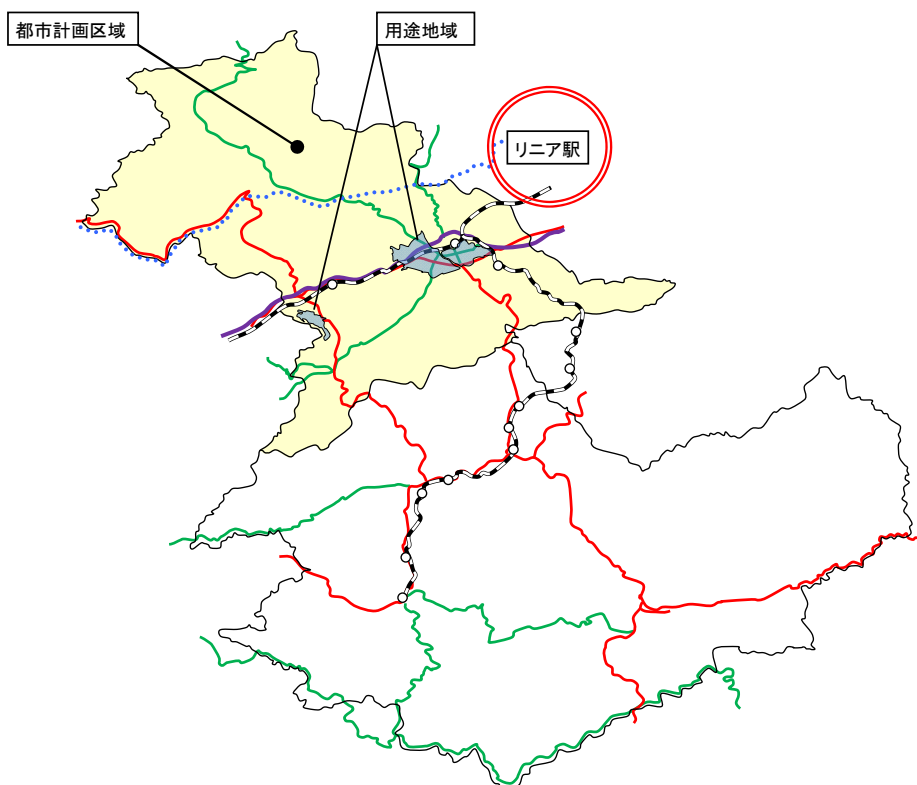
1.都市計画法による土地利用規制

- 都市計画区域は旧恵那市に指定されている。面積は17,256ha であり(市域面積の34%)、区域区分は定められていない。
- 用途地域は恵那駅周辺及び西部の恵那テクノパークに指定されている。面積は554ha であり(都市計画区域面積の3%)、用途地域外は16,702ha となっている(都市計画区域面積の97%)

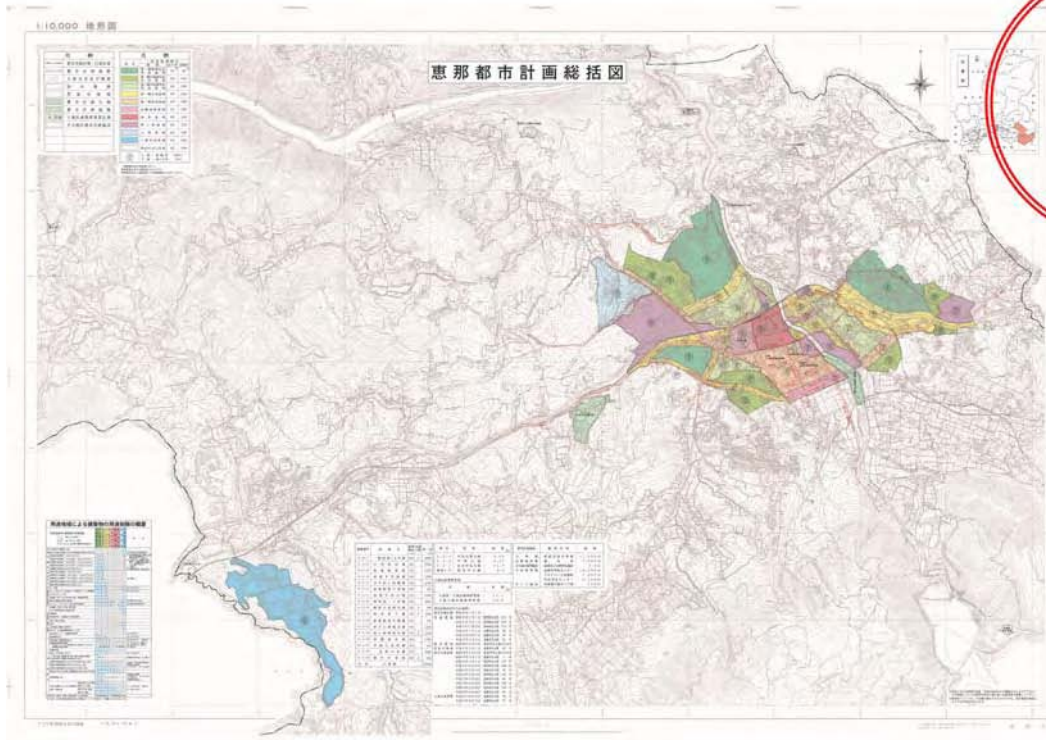
行政区域	都市計画区域														都市計画区域外
	用途地域														
	1低層	2低層	1中高	2中高	1住	2住	準住	近隣商業	商業	準工業	工業	工業専用			
50,419	17,256	554	97		62	63	93	52		21	16	55	27	68	33,163
100.0%	34.2%	1.1%	0.2%	0.0%	0.1%	0.1%	0.2%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%	65.8%
-	100.0%	3.2%	0.6%	0.0%	0.4%	0.4%	0.5%	0.3%	0.0%	0.1%	0.1%	0.3%	0.2%	0.4%	192.2%

(都市計画基礎調査)

<都市計画区域>

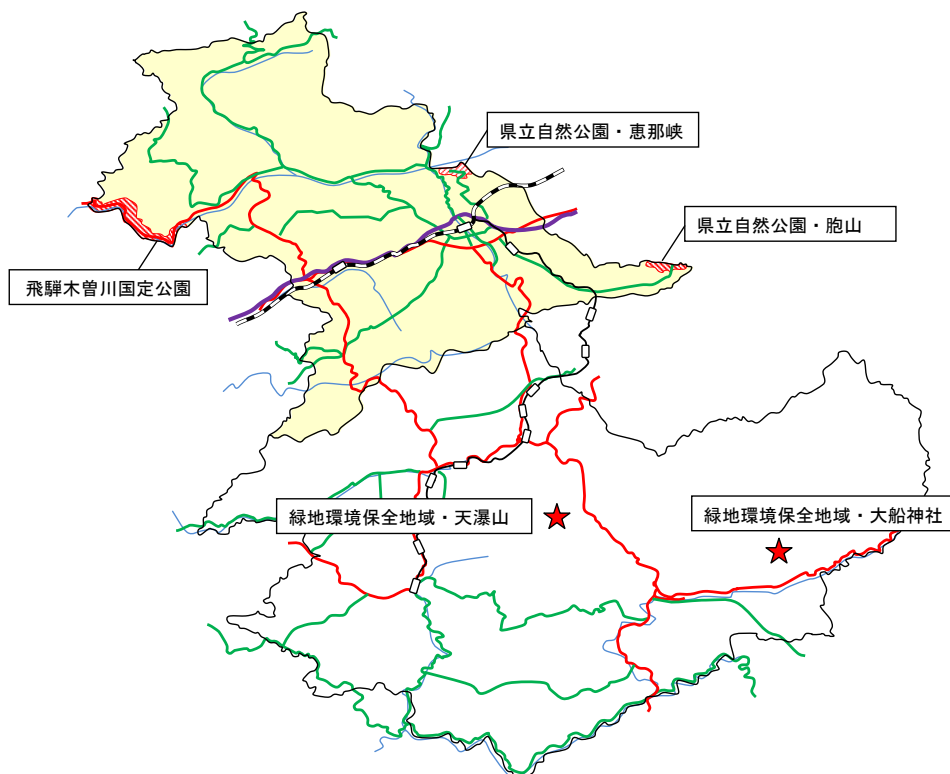


<用途地域>



2.自然公園・環境保全地域

- 下記に示すように、国定公園、県立自然公園、緑地環境保全地域が指定されている。



指定区分	名称	全体面積 (ha)		指定年月日	特 徴
		うち特別地域面積 (ha)			
国定公園	飛騨木曾川	18,075		S39.3.3 H元.6.7	飛騨川・木曾川沿いの奇岩・峡谷美
		-			
県立自然公園	恵那峡	1,505		S29.9.14	恵那峡を中心とする峡谷美
		319			
	胞山	5,027		S29.9.14 S35.8.30 H16.3.18	高原・湖が一体となった自然景観美
		455			
緑地環境保全地域	天瀑山	68.20		S48.3.31	アカマツの大径木などの良好な緑地
		10.50			
	大船神社	7.05		S54.3.30	老齡巨木のスギ林を主体とした良好な緑地
		6.88			

(岐阜県環境白書)

③地価

- 地価は、恵那駅周辺の商業地で40,000～70,000円/㎡、住宅地で20,000～40,000円/㎡となっている。用途地域周辺の住宅地は10,000円/㎡台となっている。
- 中津川市と比較すると、中津川市の方が商業地、住宅地とも若干高い。
- 地価変動率をみると恵那市は東濃圏域の中でも下落率が比較的高い。

<地価(恵那市・中津川市)>

恵那市

■地価公示(H24.1.1)

標準地番号	価格(円/㎡)	土地利用	都市計画区域区分(用途区分)
恵那-1	38,600	住宅地	第一種住居地域
恵那-2	23,100	住宅地	第一種低層住居専用地域
恵那-3	23,900	住宅地	第一種低層住居専用地域
恵那5-1	70,900	商業地	商業地域
恵那5-2	41,800	商業地	近隣商業地域

中津川市

■地価公示(H24.1.1)

標準地番号	価格(円/㎡)	土地利用	都市計画区域区分(用途区分)
中津川-1	38,200	住宅地	第二種中高層住居専用地域
中津川-2	26,400	住宅地	第一種中高層住居専用地域
中津川-3	26,900	住宅地	第一種低層住居専用地域
中津川5-1	54,900	商業地	商業地域
中津川5-2	73,500	商業地	商業地域

■地価調査(H23.7.1)

標準地番号	価格(円/㎡)	土地利用	都市計画区域区分(用途区分)
恵那-1	27,700	住宅地	都市計画区域
恵那-2	14,300	住宅地	都市計画区域
恵那-3	30,200	住宅地	第二種中高層住居専用地域
恵那-4	20,500	住宅地	都市計画区域
恵那-5	11,100	住宅地	都市計画区域
恵那-6	14,100	住宅地	
恵那-7	18,000	住宅地	
恵那-8	3,600	住宅地	
恵那-9	3,500	住宅地	
恵那-10	12,100	住宅地	
恵那5-1	28,400	商業地	
恵那5-2	19,900	商業地	
恵那5-3	70,300	商業地	近隣商業地域
恵那9-1	14,600	工業地	工業専用地域

■地価調査(H23.7.1)

標準地番号	価格(円/㎡)	土地利用	都市計画区域区分(用途区分)
中津川-1	18,900	住宅地	都市計画区域
中津川-2	17,000	住宅地	都市計画区域
中津川-3	26,700	住宅地	第一種低層住居専用地域
中津川-4	15,300	住宅地	都市計画区域
中津川-5	33,100	住宅地	第一種低層住居専用地域
中津川-6	8,590	住宅地	
中津川-7	5,600	住宅地	
中津川-8	19,200	住宅地	
中津川-9	14,600	住宅地	
中津川-10	8,960	住宅地	
中津川-11	14,700	住宅地	
中津川-12	3,950	住宅地	
中津川-13	6,990	住宅地	
中津川5-1	48,200	商業地	近隣商業地域
中津川9-1	18,200	工業地	工業専用地域

<地価変動率(%)>

		H23 最高値	平均変動率		
			H23	H22	H21
多治見市	地価公示	109,000	▲ 2.2	▲ 2.3	▲ 1.2
	地価調査	89,800	▲ 2.0	▲ 2.0	▲ 2.2
中津川市	地価公示	75,500	▲ 2.4	▲ 2.4	▲ 1.7
	地価調査	48,200	▲ 1.7	▲ 2.0	▲ 2.1
瑞浪市	地価公示	68,400	▲ 2.3	▲ 3.0	▲ 1.6
	地価調査	62,500	▲ 1.9	▲ 2.5	▲ 2.2
恵那市	地価公示	71,700	▲ 2.8	▲ 2.9	▲ 1.8
	地価調査	70,300	▲ 2.3	▲ 2.3	▲ 2.1
土岐市	地価公示	65,400	▲ 2.0	▲ 2.3	▲ 1.9
	地価調査	49,900	▲ 2.0	▲ 2.4	▲ 2.2

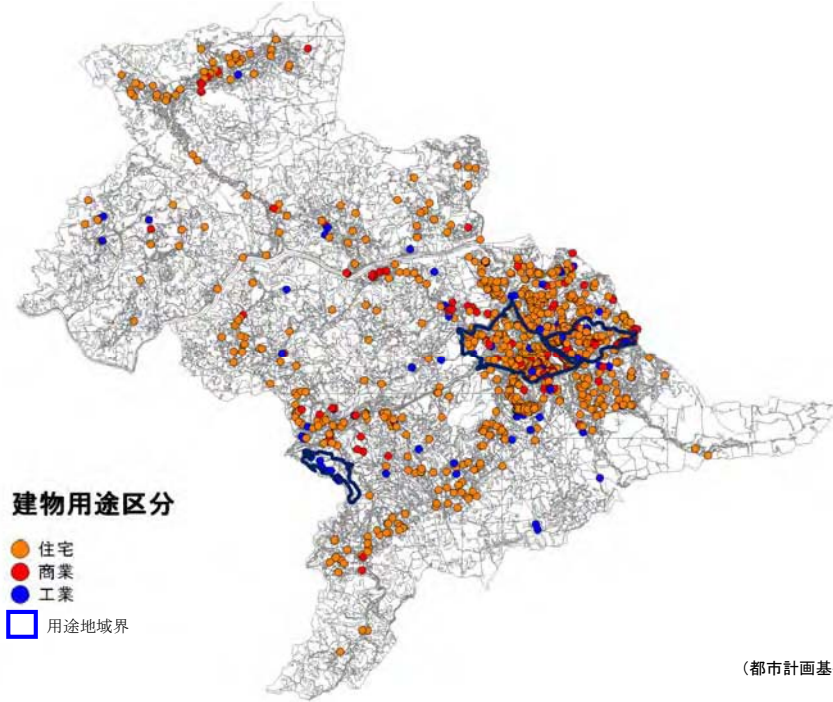
<地価 位置図(恵那市)>



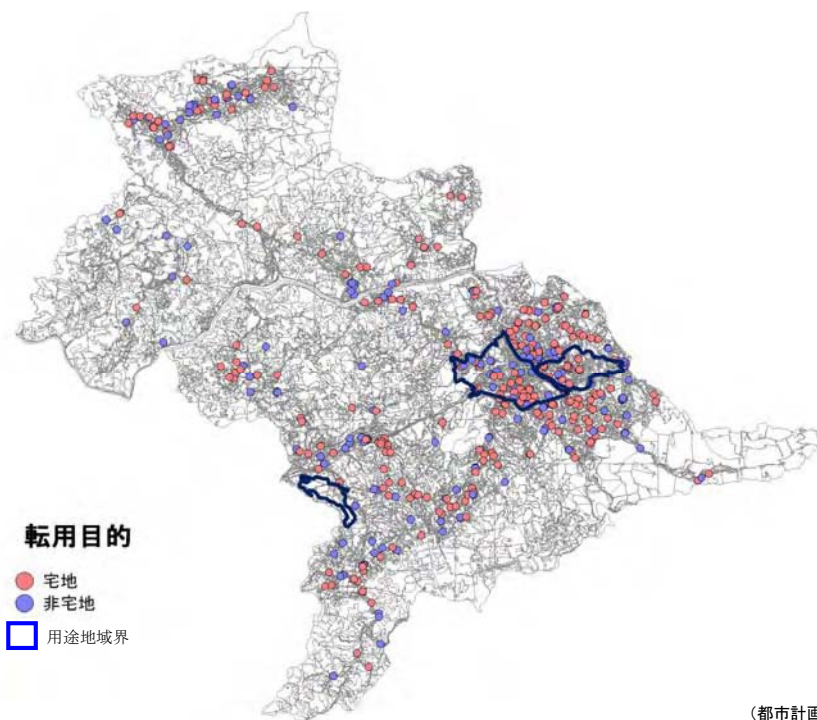
④開発動向

- 建物の新築が行われた場所、農地転用の場所は、用途地域内だけでなくその周辺の白地地域でも多くなっている。

＜建築着工件数(H15～H19)＞



＜農地転用(H15～H19)＞

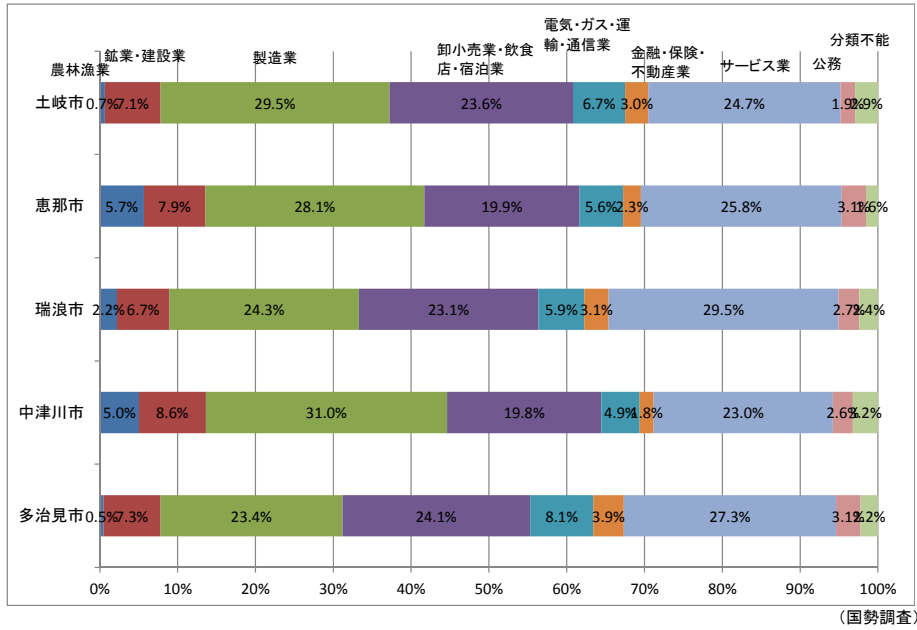


(3) 就業事情

① 15歳以上就業者の産業別比率(東濃圏域)

- 恵那市の就業者の産業別比率は製造業が最も高い。次いでサービス業となっている。
- 東濃圏域でみてみると、恵那市は農林漁業の比率が他市よりも高い。

<15歳以上就業者の産業別比率(東濃圏域)>



3. アクセス現況調査

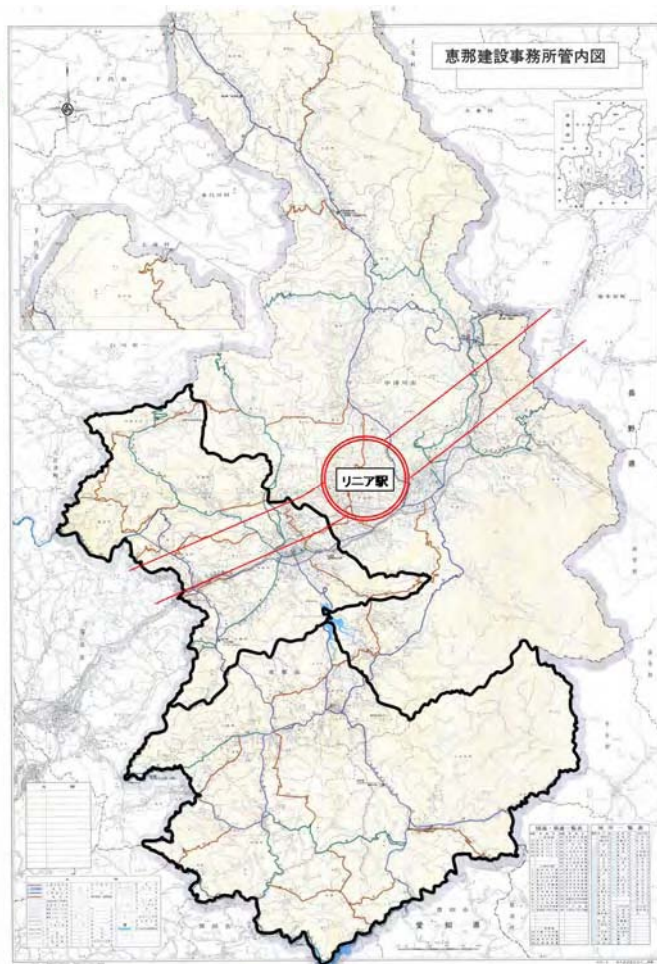
(1) 道路

① 道路網

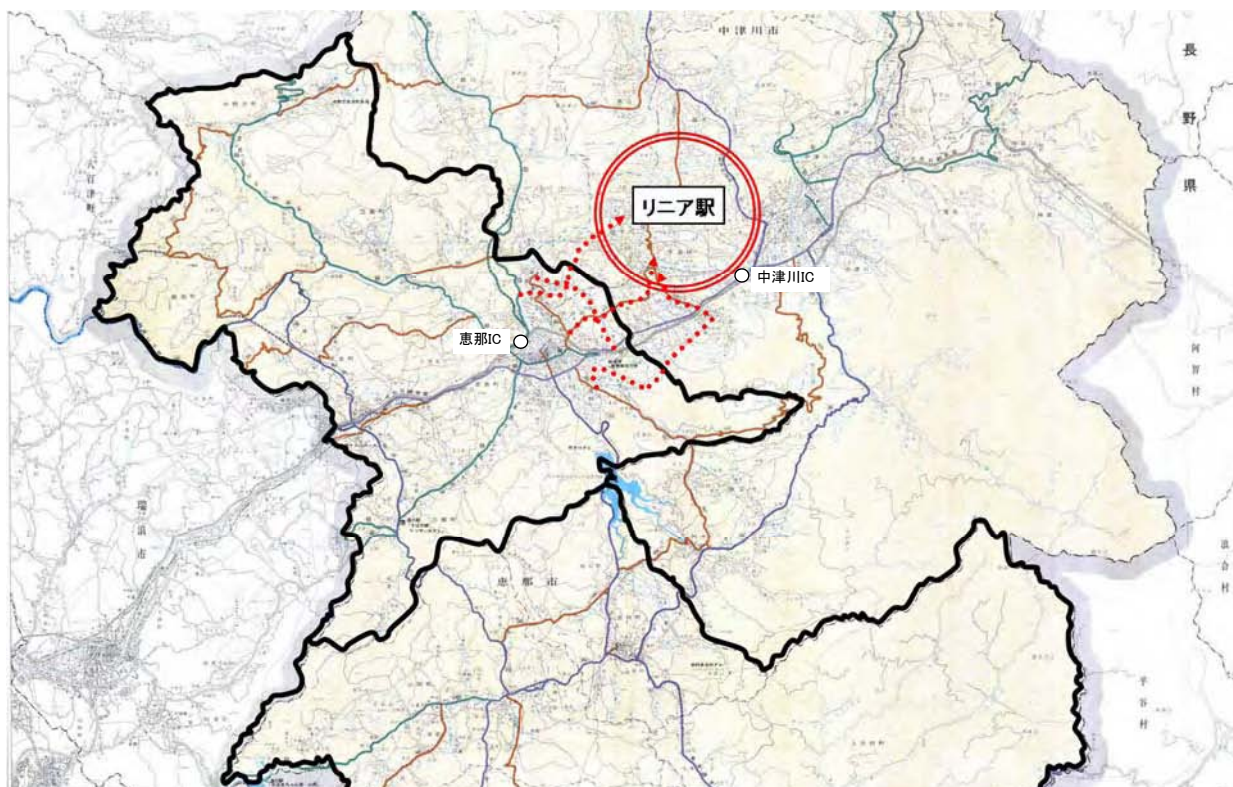
<広域的にみた
岐阜県の幹線道路ネットワーク>

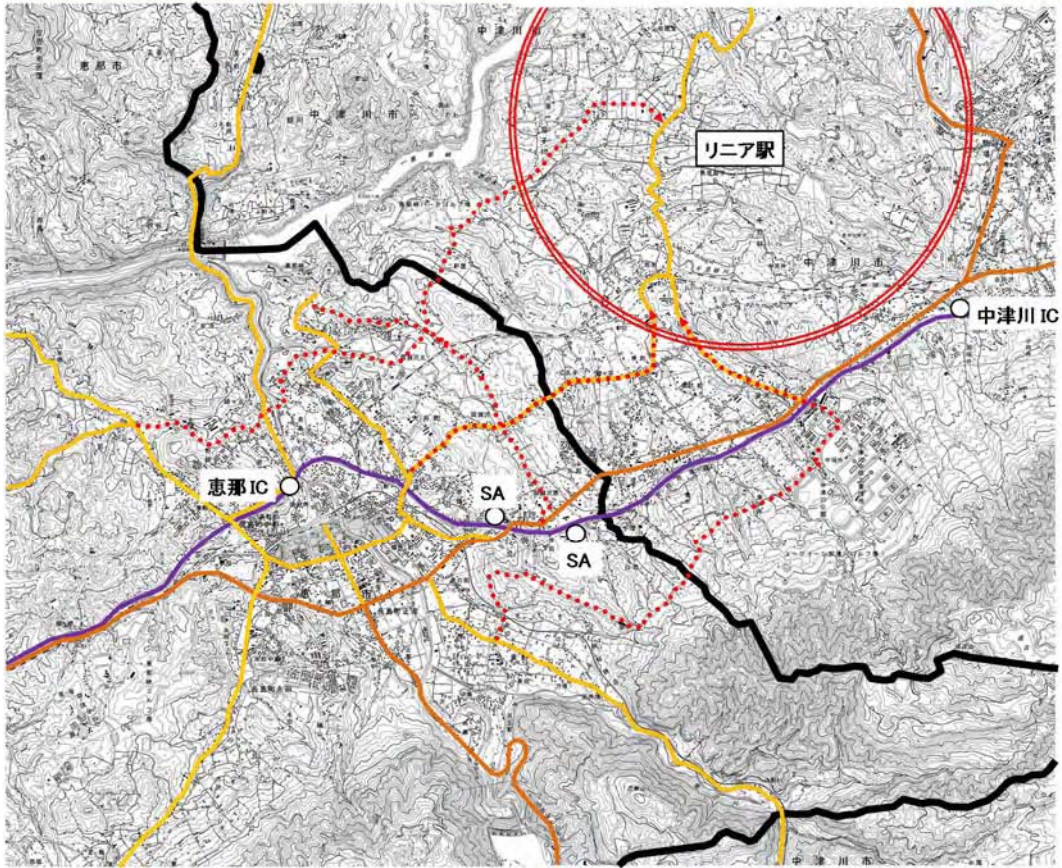


<道路網(恵那市・中津川市)>
国道・主要地方道・一般県道



<リニア駅付近道路網>

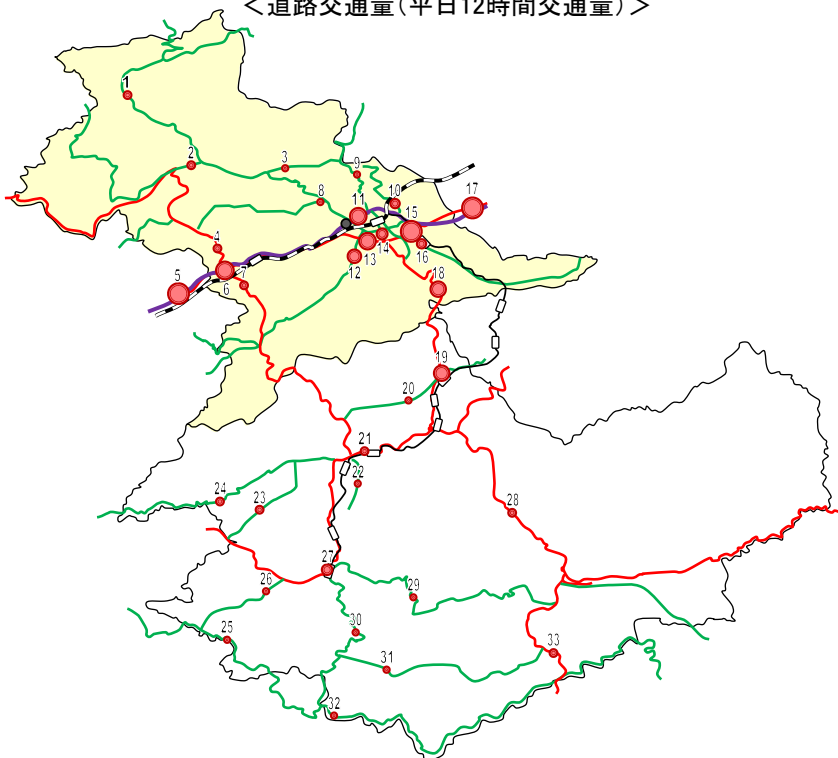




②道路交通量

- 交通量は国道19号、(県)恵那白川線の交通量が多くなっている。

<道路交通量(平日12時間交通量)>



No.	道路名	H17	H22	変化率	No.	道路名	H17	H22	変化率
1	恵那白川線	2,507	2,474	120.3%	18	一般国道257号	7,664	8,252	107.7%
2	恵那八百津線	725	1,255	173.1%	19	一般国道257号	7,664	8,252	107.7%
3	毛呂窪姫栗線	295	290	98.3%	20	久保原阿木線	1,729	1,717	99.3%
4	一般国道418号	2,085	2,075	99.5%	21	一般国道363号	4,758	4,841	101.7%
5	中央自動車道	24,018	24,144	100.5%	22	串原明智山岡線	227	223	98.2%
6	一般国道19号	15,519	13,533	87.2%	23	下手向陶線	2,697	2,197	81.5%
7	一般国道418号	3,551	3,246	91.4%	24	瑞浪上矢作線	3,471	3,411	98.3%
8	大湫恵那線	1,411	756	53.6%	25	瑞浪大野瀬線	573	563	98.3%
9	恵那蛭川東白川線	1,527	1,578	103.3%	26	上仁木明智線	553	543	98.2%
10	恵那峡公園線	6,035	5,500	91.1%	27	一般国道363号	4,121	4,737	114.9%
11	恵那白川線	12,237	11,266	92.1%	28	一般国道257号	3,333	3,385	101.6%
12	多治見恵那線	8,372	7,991	95.4%	29	瑞浪上矢作線	591	581	98.3%
13	一般国道19号	15,581	13,291	85.3%	30	豊田明智線	934	918	98.3%
14	恵那停車場線	3,478	9,277	266.7%	31	下明智線	482	474	98.3%
15	一般国道19号	20,860	21,029	100.8%	32	瑞浪大野瀬線	472	464	98.3%
16	阿木大井線	4,705	4,585	97.4%	33	一般国道257号	1,785	1,825	102.2%
17	中央自動車道	19,525	18,196	93.2%					

(2) 公共交通機関

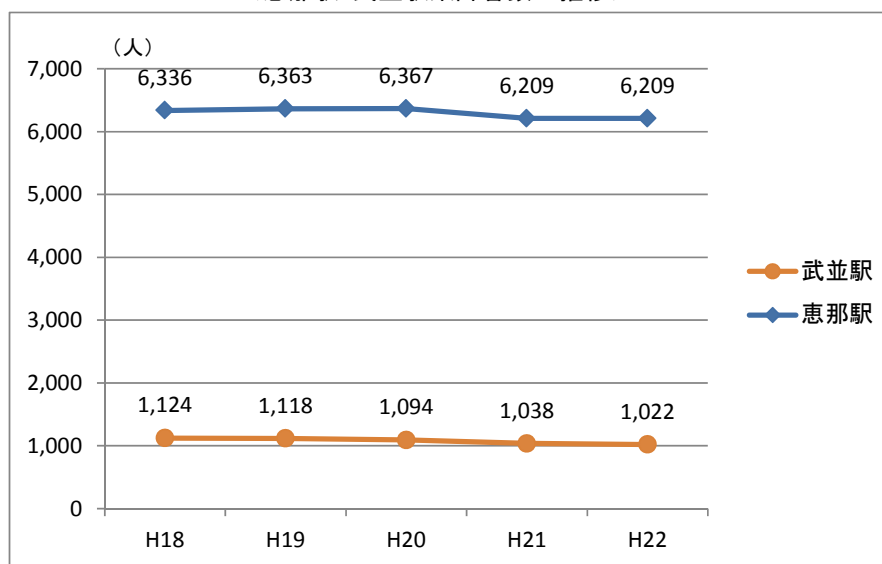
① 鉄道

- 鉄道はJR中央線、明知鉄道(第三セクター)の2路線が運行されている。

1. JR中央線

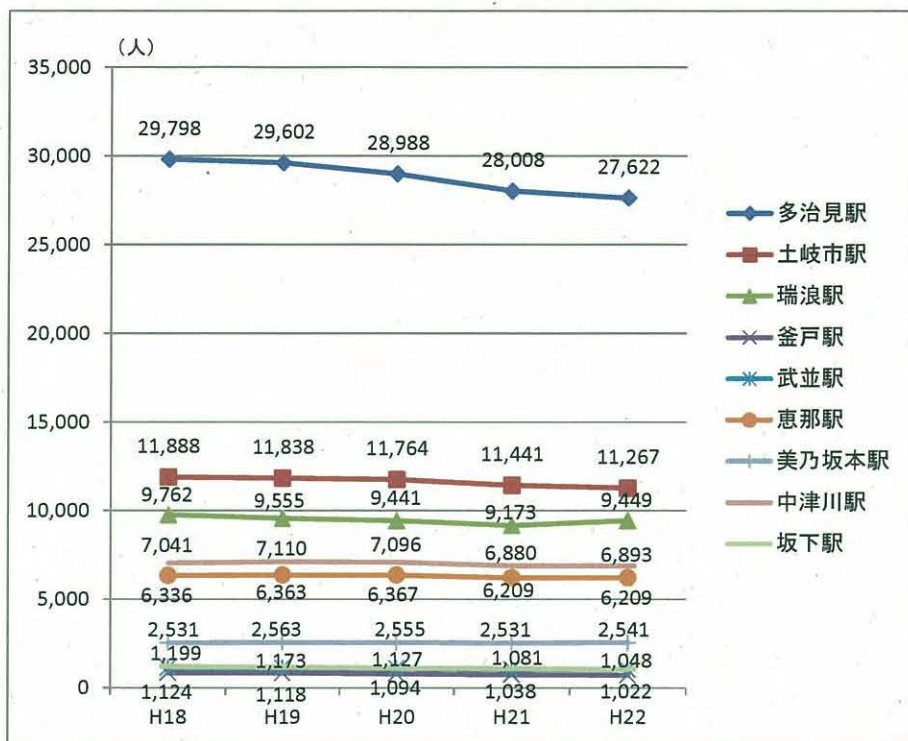
- 平成22年度の恵那駅の1日平均乗降客数は6,209人、武並駅は1,022人で微減傾向にある。

< 恵那駅・武並駅乗降客数の推移 >



- 東濃圏域の各駅の1日平均乗降客数は多治見駅が最も多い。各駅とも減少または横ばい傾向にある。

＜東濃圏域各駅の乗降客数の推移＞



2. 明知鉄道

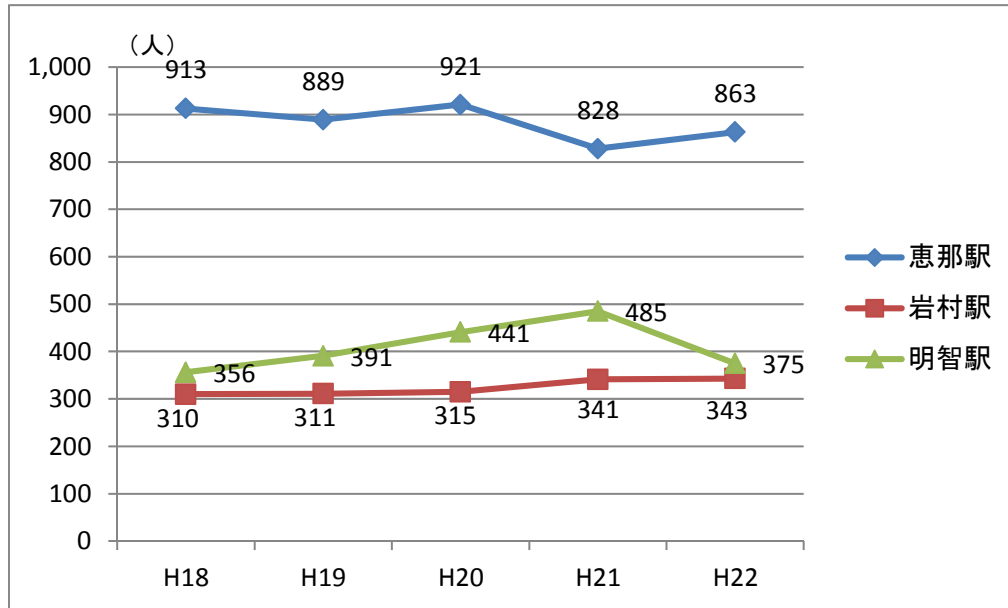
- 恵那市内に9、中津川市内に2の11駅ある。
- 明知鉄道の年間乗車人員は減少傾向にあるものの、近年は微増傾向にある。

＜明知鉄道年間乗車人員＞



- 主要な駅の1日平均乗降客数はほぼ横ばい傾向にある。

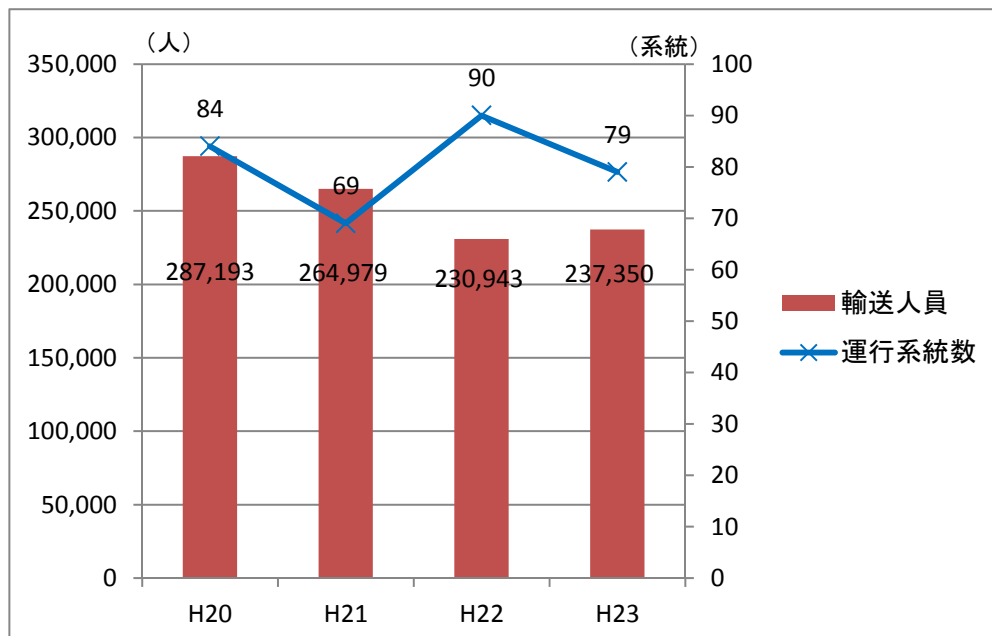
＜主要駅の乗降客数の推移＞



②自主運行バス

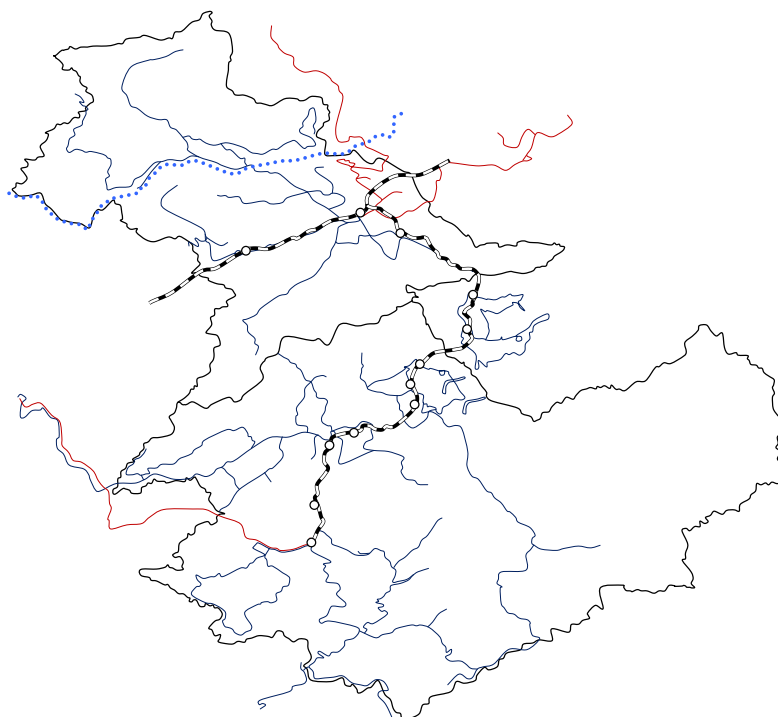
- バスは、JR及び明知鉄道駅を起点とする路線を中心に東鉄バス、恵那市自主運行バスにより運行されている。
- 輸送人員は平成23年度237,350人で、減少傾向にある。

＜自主運行バスの輸送人員の推移＞



<自主運行バス網>

<凡例>
 東鉄バス
 自主運行バス



4. 恵那市の強みと弱み

項目	強み（恵那市のポテンシャル）	弱み
人口等 (P2~P9 参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・移住・定住支援を進めている。 ・移住実績がある。<P7・8> H22… 33世帯95人 H23… 49世帯134人 ・恵那市の通勤・通学の状況を見ると中津川市との流動が最も多い(約4,000人)が、東濃圏域各市に加え、名古屋市、豊田市との流動も多い。<P9> 	<ul style="list-style-type: none"> ・恵那市の人口は平成22年現在53,718人であるが、近年は減少傾向にある(30年間で約5,400人減少)。<P2> ・高齢化が進展している(高齢化率28.9%)。東濃圏域で最も高齢化率が高い。<P4・5> ・人口動態においては、近年は150人~300人の転出超過となっている。<P6>

項目	強み（恵那市のポテンシャル）	弱み
農業 (P10～P15 参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・恵那市の総農家数は4,099戸、農家率は22.6%となっており、農家率は全国平均、岐阜県平均を大きく上回っており、東濃圏域では1位となっている。〈P11・12〉 ・専業農家率も9.8%となっており、東濃圏域において1位となっている。〈P11・12〉 ・農地においては水田率が高い。〈P11・12〉 ・特色ある農産物、特産品がある。 〈P13～15〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・担い手の高齢化と後継者不足が課題となっている。 ・耕作放棄地が増加している。

<p>(えな100選)</p> <p>■えな業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・恵那シクラメン ・恵那栗 ・東濃ヒノキ <p>■えな食</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栗きんとん ・五平餅 ・細寒天 ・朴葉すし ・へぼ料理 ・菊牛蒡 ・カステーラ ・からすみ <p>(その他前掲)</p>

60

項目	強み（恵那市のポテンシャル）	弱み
工業 (P16～P19 参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・恵那テクノパークが位置する(13社、従業員約1,200人)。 ・窯業関連、紙関連、プラスチックや機械等の業種が強い。〈P18・19〉 ・東濃圏域内では製造品出荷額等は中津川市に次いで第2位。プラスチック製品製造業は東濃圏域内第1位となっている。 〈P18・19〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所数は平成22年現在204事業所であるが近年減少傾向にある。 〈P17〉

<p>(えな100選)</p> <p>■えな業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・恵那テクノパーク ・ダンボール原紙生産量日本一 ・バイオリン生産量日本一 ・硬式用金属バット生産本数日本一 ・陶土
--

61

項目	強み（恵那市のポテンシャル）	弱み
観光 (P21～P25 参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史・文化施設、自然資源、スポーツ・レクリエーション施設、産業資源(ダム関連)等観光資源が豊富である。〈P22～25〉 ・市全体の観光入込み客数は増加傾向にある(平成22年現在352万人)。〈P21〉 ・中津川市と比較し宿泊施設は充実している(客室約600)。〈P21〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光資源が十分活かされていない。 ・各地域の観光資源の連携が弱い。

(えな100選)

■えな館

- ・中山道広重美術館
- ・岩村歴史資料館
- ・そばの郷らっせいみさと
- ・おばあちゃん市・山岡
- ・上矢作ラ・フォーレ福寿の里
- ・福寿の里モンゴル村
- ・クリスタルパーク恵那スケート場
- ・五毛座

■えな水

- ・大井ダム
- ・阿木川ダム
- ・小里川ダム
- ・寿老の滝
- ・花白温泉
- ・笠置ダム
- ・矢作ダム
- ・保古の湖
- ・ささゆりの湯
- ・恵那峡温泉

■えな景

- ・恵那峡
- ・岩村本通り
- ・上矢作風力発電所
- ・日本大正村
- ・笠置山
- ・映画「青い山脈」「ふるさとがえり」
- ・東濃牧場
- ・傘岩
- ・富田地区の農村景観
- ・大船神社と松並木
- ・坂折棚田
- ・笠置山クライミングエリア
- ・(その他前掲)

62

項目	強み（恵那市のポテンシャル）	弱み
住宅事情 (P26～P30 参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・自然・文化に恵まれた住環境にある。 ・大都市に比較し持家率が高い(80.9%)。〈P26〉 ・1戸当たりの住宅規模が大きい(90㎡以上が約7割)。〈P28〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・空家が多くみられる(約1,300戸)。〈P27〉
土地事情 (P31～P45 参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・山紫水明の豊かな自然や田園風景に恵まれた地域である。 ・都市計画区域・用途地域が指定され計画的なまちづくりが進められている。〈P36～38〉 ・国定公園、県立自然公園、緑地環境保全地域が指定されている。〈P39～40〉 ・地価は中津川市に比較して、比較的安価。〈P41〉 <p>(恵那駅周辺の商業地で40,000～70,000円/㎡、住宅地で20,000～40,000円/㎡、用途地域周辺の住宅地は10,000円/㎡台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・白地地域において新築、開発が活発であり無秩序な開発が懸念される。〈P44〉 ・地価変動率をみると恵那市は東濃圏域の中でも下落率が比較的高い(平成23年地価公示▲2.8% 地価調査▲2.3%)。〈P42〉

63

項目	強み（恵那市のポテンシャル）	弱み
道路 (P47～P52 参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・中央自動車道恵那IC、恵那SAが位置する。 ・国道4路線、県道により骨格的な道路網が形成されている。〈P48・49〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・国道19号、(県)恵那白川線に交通が集中している。〈P51・52〉 ・中津川市方面(リニア駅方面)への道路網が脆弱である。 ・南北方向の道路網が脆弱である。
公共交通機関 (P53～P58 参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道がJR中央線、明知鉄道の2路線がある。 ・JR中央線恵那駅の1日平均乗降客数は6,209人、武並駅は1,022人となっている(平成22年度)。〈P53〉 ・明知鉄道恵那駅の1日平均乗降客数は863人、岩村駅は343人、明智駅は375人となっている(平成22年度)。〈P56〉 ・バスの路線網は比較的充実している。〈P58〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・JR中央線の乗降客数は微減傾向にある。〈P53〉 ・明知鉄道の年間乗車人員は減少傾向にあるものの、近年は微増傾向にある。〈P55〉